

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
123	拓殖大学	スペイン語学概論 I	安富 雄平 外国語学部 教授	2	前期	火	15	9:20～10:50	拓殖大学 八王子国際キャンパス	若干名

【授業の目的及び到達目標】

本講開講の目的は、スペイン語を研究対象として捉え、分析と総合という科学的視点から言葉を研究する姿勢を持って様々な言語現象を解明することの面白さを体験し、学問的言語研究の端緒を開くことである。スペイン語の呈する多様な言語現象を対象としてその特質の解明を試みる。音声学・音韻論、形態論、統語論、意味論、語用論等広範な体系を概観しつつ、言語に対する科学的視野の形成を促す。

【授業内容】

1. 言語の機能とスペイン語 …言語のもつ様々な機能を概観し、特にコミュニケーション機能と思考媒体機能との表裏一体の特質について考察する。
2. El lenguaje y la lengua …コミュニケーションとは何か。言語学における「記号」の意味。言語と個別言語について学ぶ。
3. 言語と個別言語 …言語と知的精神活動との関係について考察する。またヒトの社会性がどのように言語と関わるのかについて考える。
4. La gramática …言語学と文法との関係について考える。文法の規則を自分で発見するための基本的考え方を学ぶ。
5. La lengua española …世界の言語文化の中でスペイン語はどのような位置を占めるのか、スペインのスペイン語とイスマノアメリカのスペイン語との関係について考察する。
6. El pasado del español …ギリシア語、ラテン語からロマンス諸語、カステール語からスペイン語までの歴史の変遷をたどる。
7. スペイン語の音声 …言語の媒体としての音声の機能について考える。スペイン語音声学の基本概念を概観する。
8. De la voz a la fonema …言語音声の音声学的定義。気流発生機構、発声器官、調音の種類など、スペイン語を例にとって音声の学問的扱いについて学ぶ。
9. Fonemas y letras …音素とつづり字との関係について考察する。音と文字標記との対応関係について日本語とスペイン語との対照を試みる。
10. 対照言語学とスペイン語学 …複数の言語間の徴標を対照することによって、「言語」のもつ類似性、相似性、差異を明らかにして言語の本質に迫る言語研究の分野について概観する。
11. スペイン語の音節構造 …音節主音とアクセント、音声学的に見た音節と尾人論敵に見た音節、二重母音・三重母音の音声学的定義について考える。
12. スペイン語のアクセント …アクセントの役割と言語間対照。スペイン語のアクセントの役割と規則を確認する。また表記法との関係も考える。
13. スペイン語のプロソディー …アクセント、イントネーション、リズムについて日本語と対照しつつ考察する。
14. 音韻論と正書法 La ortografía del español …スペイン語の正書法について詳細に確認する。また表記体系の種類と正書法との関連についても考察する。
15. スペイン語を学ぶ意義についての考察 Examen final …筆記試験と解説、授業の振り返り。また、大学教育における専門課程のスペイン語学の位置づけについて考える。

【授業の方法】

印刷教材を用いてスペイン語学の基本的な考え方に接する。受講者には各段落の要旨を日本語で発表してもらい、様々な現象の類似点相似点に着目しつつ日本語や英語その他の言語と対照する。

【予習・復習】

予習: プリントで配布する教材を熟読して、要旨を日本語で纏めておく。

復習と発展: ①日本語との対照を試みる。②スペイン語の他の例を探す。③英語やその他の言語に類似の現象がないか調べる。

【成績評価方法(成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い)】

筆記試験の成績と授業参画(授業中の積極的発言や発展的学習の報告など)、課題の成果をプラス方向に加味する。期末の筆記試験 90%、授業参画 5%、課題 5%。各授業及び Blackboard(学習管理システム)でフィードバックする。

【教科書・参考書】

教科書: 教科書は使用しない。教材はプリントで配布する。

参考書: 岡田辰雄『現代スペイン語講座』東京: 芸林書房, 1996. Seco, Manuel. Gramática esencial del español. Madrid: Espasa Calpe, 1995.

※ この授業は、4/14(火)が初回です。